

1

第 29 回

日本禁煙推進医師歯科医師連盟学術総会

2020 年 2 月 16 日（日）

会場：東京都医師会館 ポスター発表

こどもをタバコから守る会・代表

政令市浜松の健康政策を支援する会・代表理事

浜名医師会・理事 加藤一博

はじめに

2020 東京開催オリンピック・パラリンピック競技大会にむけ、国内でも受動喫煙対策の推進が見られるが、何れもオリンピック開催に向けた FICTI の要件を満たすものではない。日清戦争・日露戦争の最大な赤字補填であるタバコ専売制度が、まだ色濃く残っている我が国ではあるが、先駆的な学術団体やシームレスな市民活動に後押しをされる格好でこどもで進んだのも事実である。オリンピック開催は目前に迫っているが、手帳を破る前に、市民一人一人が声を上げる草の根活動を継続すべきと考えるが、それは 5 年後に迫った大阪万博に繋ぐものである。これまで浜松市は住民喫煙率が低いのに、禁煙店は僅かだった。そこには「禁煙にするとお客が逃げる」と言う時代錯誤の思い込みがあったが、大勢は不健康・不衛生・危険な店舗に入店できないのだ。今回新宿ゴールデン街に 33 年前から店内禁煙を貫き通している「バー洗濯船」を取材し、トップダウンの施策が必要さを痛感した草の根活動を続けることで、少しでも全国に禁煙店舗が増えることを祈るばかりである

2

静岡県新聞

5 月 31 日

土曜日

健康意識の差 浮き彫り

県内喫煙率 東部高く

静岡県新聞

5 月 31 日

土曜日

3

待ちに待った静岡県受動喫煙防止条例

受動喫煙防止条例の施行に伴い、
標識掲示の義務がスタート!

禁煙

分煙

喫煙可

2019年4月1日から

静岡県では、前記すべての飲食店の出入口に禁煙・分煙・喫煙可の標識を掲示する義務がスタートします。

4

改正健康増進法

静岡県 受動喫煙防止条例

東京都 受動喫煙防止条例

＜第 2 種施設＞

飲食店

禁煙 (要表示)

禁煙 (要表示・努力義務)

禁煙 (要表示)

禁煙 (要表示・努力義務)

禁煙 (要表示)

禁煙 (要表示・努力義務)

5

悪質な場合、店名公表・・・

静岡県にとって悪質な場合・・・ 店舗は条例を守らなくても良い、直接店舗に損失がない (どうせ罰則は無いのだから黙殺してもお咎めなし)

形骸化して店舗側は誰も相手にしない ⇒ 広域自治体が喫煙可能店を案内・誘導してくれる (ここならば安心してタバコが吸えるね)

店舗や喫煙者にとって決して後ろめたいことではなく、店名公表は数々の疑問や懸念を含んでいる

このような施策では、健康寿命の延伸は望めない

6

健康増進法を改正しても・・・

公衆が集まる場所：8 種類
① 医療施設 ② 大学以外の学校 ③ 大学 ④ 行政機関
⑤ 事業所 ⑥ 飲食店 ⑦ パー ⑧ 公共交通機関

禁煙場所の数

国数

代表的な国

全 8 種類

55

イギリス・カナダ・ロシア・ブラジル 等

6-7 種類

23

ノルウェー・ハンガリー 等

3-5 種類

47

ポーランド・韓国 等

0-2 種類

61

日本・マレーシア 等

7

厚生労働省発表

喫煙関連死 135,000 人

受動喫煙犠牲者 15,000 人

静岡県人口に換算すると 465 人 / 全県

浜松地区では、およそ 100 名が受動喫煙で犠牲になっている

8

浜松市人口

健康福祉部保健課 2012 年 12 月 1 日

平成 18 年 817,548 人

平成 19 年 820,336 人 + 2,788 人

平成 20 年 823,628 人 + 3,292 人

平成 21 年 824,640 人 + 1,012 人

平成 22 年 820,971 人 - 3,666 人 ↓

平成 23 年 818,841 人 - 2,130 人 ↓

平成 24 年 816,848 人 - 1,993 人 ↓

3 年間で計 7792 人減少

9

全国民喫煙率と浜松市民喫煙率

2001 2007 2011 2016

全国平均 38.7 24.0 21.7 19.3

浜松市 20-29 歳 21.9 16.4 16.0 10.2

浜松市 30 歳以上 21.9 16.4 16.0 10.2

10

非感染性疾患と傷害による成人死亡の主要な 2 つの決定因子は喫煙と高血圧

図：2007 年の我が国における危険因子に関連する非感染性疾患と外因による死亡数

喫煙 125.9 年

高血圧 125.9 年

運動不足 125.9 年

高血糖 125.9 年

食生活 125.9 年

肥満 125.9 年

ヘルペスウイルス感染 125.9 年

高LDLコレステロール 125.9 年

C型肝炎ウイルス感染 125.9 年

多発性骨髄腫の化学療法 125.9 年

過剰なアルコール摂取 125.9 年

8型肺炎ウイルス感染 125.9 年

野菜菜油の低摂取 125.9 年

ヒト免疫不全ウイルス (HIV) 感染 125.9 年

ヒト免疫不全ウイルス (HIV) 感染 125.9 年

トランス脂肪酸の過剰摂取 125.9 年

11

飲食店経営者の皆様へ

喫煙対策しないと罰金 50 万円が始まるの知ってます?

令和時代の飲食店・宿泊施設の受動喫煙対策を支援します

7/7 日 10:00~12:00

浜松市健康文化センター 大ホール (浜松市健康文化センター)

浜松市健康文化センター 大ホール (浜松市健康文化センター)

12

受動喫煙による年間死亡数の推移

肺がん 2480 人

虚血性心疾患 4460 人

脳卒中 8010 人

乳幼児突然死症候群 70 人

計 約 1 万 5000 人 (厚生省研究班による)

13

タバコが吸えるレストラン

食事が可能な喫煙室

14

たかだか 10% の喫煙客対象にしている事実

喫煙者 10%

非喫煙者 90%

90% はタバコ臭い空間に行けないか入ったとしても我慢している

15

事前表訪問対応

ポスター掲示

7 月 7 日参加 (0%)

浜松商工会議所

浜名商工会

湖西市商工会

新居町商工会

浜松市議会議員

自由民主党浜松

市民クラブ

創造浜松

公明党

日本共産党浜松市議団

浜松市政向上委員会

市民サポート浜松

静岡県議会議員

浜松地区選出 14 名

湖西地区選出 1 名

16

子どもとタバコをめぐる

受動喫煙をなくするための法律 (改正健康増進法)

静岡県保健所長 加治正行

すべての人を守るタバコゼロ社会の実現に向けて

日本対がん協会参事 (禁煙推進・対がん事業開発) 医師・医学博士 国立がんセンター、厚労省、国立保健医療科学院、世界保健機構 (WHO)、国立がん研究センター等を経て 2016 年より現職 日本対がん協会・参事 望月友美子 (禁煙推進・対がん事業開発)

17

○新中国料理 ムーラン店長 内田三子 氏

まず、料理を美味しく食べてもらうには、食材のみならず店内環境も清潔にすべきである 店舗内の反虫屋外に移動させたが、今では受け入れられている

○珈琲茶房 もみの木 店長 豊田啓子 氏

平成 8 年開店時から店内禁煙で営業している 喫茶店ではなく珈琲茶房として理解されてきた 水と珈琲豆もこだわっている

○割烹天龍 店長 坂岸秀一 氏

店内禁煙化は宴会場から始め、数年かかってカウンターまで広げた店主のスタンスが大切

18

○すし・魚料理「かんばち」古橋勘一店長

35 年前から店舗内禁煙にしている 当初はトラブルもあったが、現在は受け入れられている お客ばかりだ

○イタリアン「ババガロ」小原教男 店長

当初は分煙から開始したが、喫煙スペースは閑古鳥状態 家族連れや子供たちからの要望もあり、全席禁煙を導入した 当初から売り上げには無関係だった すべての飲食店が全席禁煙になれば良い

○和食「かなざわ」金澤大和店長

もともと喫煙可能だったが、隣席からのタバコが嫌との苦情があったアンケートを実施し、全席禁煙を断行した 本来の飲食店はこうあるべきと思う

19

禁煙店の店長によるシンポジウム

現状の改正健康増進法では抜けばかりで、海外から驚かされている

海外では屋内は 100% 無煙であるので理解されない

もはや受動喫煙は、公害である

きちんとしたルール作りを示してもらわないと、飲食店側から喫煙者に進言できない

日本人は上からの指令に従順なので、効果的な喫煙対策が可能だ

飲食店店長の自発努力には限界があり、罰則付きの法律が必要ではないか

20

新宿ゴールデン街 禁煙バー 「洗濯船」 吉成由貴子店長

33 年前に、健康問題から店舗内を禁煙にした 当初は理解が得られず、嫌がらせもありトラブルも多かった。吉成店長は、健康で飲食店を営むなら、小規模飲食店こそ禁煙にすべきではないか、そして「社会の理解があることは大変なこと」と結んだ。

禁煙バー「洗濯船」

21

受動喫煙の実態

○タバコを吸い始めて

○さほど煙が来ていないように見えるが、

○特殊な光をあてると煙にまみれられており

○OL かも吸い込んでいた

19

インフルエンザ発症リスクは喫煙者で 5 倍超!

喫煙者は、非喫煙者と比較してインフルエンザの発症リスクが高い可能性が示唆された。 英国・ノッティンガム大学の Lawrence Hannah 氏は、喫煙とインフルエンザ感染との関連をシステマティックレビューで調査し、結果を The Journal of Infection 誌 2019 年 8 月 30 日号に掲載した。 現在の喫煙者は、インフルエンザ発症リスクが非喫煙者の 5 倍を超えている。 (OR: 5.69, 95% CI: 2.79 ~ 11.60)。

20

感染症に罹りやすいのは加熱式タバコも同じ

加熱式タバコのアイス (IQOS) と細胞組織を使った研究では、アイスから抽出された物質にさらされた細胞で肺炎球菌の増加が観察されている。 つまり、アイスを電気で加熱して煙を発生させることが加熱式タバコには、インフルエンザにかかりやすくする物質が含まれている。

インフルエンザ流行はこれからピークを迎えると考えられるが、喫煙者はインフルエンザにかからないように要警戒だ。

Lisa Miyashita, et al., "Effect of the IQOS electronic cigarette device on susceptibility to S. pneumoniae infection," Allergy and Clinical Immunology, Vol.141, Issue2, 2018

考察

① 浜松市民喫煙率は 10.4% であるが、禁煙飲食店 (小規模) はわずかである

② 2019/7/7 のシンポジウムは県議会議員・浜松市会議員は国政選挙応援のため参加は僅か 1 名だったが、行政からの参加は 10 名以上だった

③ 当地の商工会 (浜松商工会議所・浜名商工会・湖西市商工会・新居町商工会) は事前告知にも拘わらず参加は無かった

④ 浜松市において飲食店喫煙対策を進めるのは、種々の障壁がある

⑤ 喫煙者はインフルエンザ感染リスクが 5 倍高い

⑥ タバコ問題の解決は、学術的な解明と advocacy の補完的な解決が欠かせない

世界中が注目するオリンピック開催は、最大のキッカケになり、受動喫煙防止の流れは、2025 開催の大阪万博まで繋げなくてははいけない